



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月15日

上場会社名 株式会社インティメート・マージャー 上場取引所 東
コード番号 7072 URL <https://corp.intimatemerger.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 築島 亮次
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 星野 貴彦 TEL 03 (5114) 6051
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	1,573	1.4	63	△49.6	64	△49.4	43	△50.5
2023年9月期第2四半期	1,552	14.6	126	194.9	128	202.8	86	195.4

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 43百万円 (△49.9%) 2023年9月期第2四半期 86百万円 (226.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	13.02	12.78
2023年9月期第2四半期	26.58	25.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	2,173	1,581	71.5
2023年9月期	2,093	1,531	72.1

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 1,554百万円 2023年9月期 1,508百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,455	15.9	145	4.6	145	4.4	94	△6.0	28.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	3,313,750株	2023年9月期	3,289,350株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	2,974株	2023年9月期	1,574株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	3,304,489株	2023年9月期2Q	3,270,881株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定期的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、2024年5月15日（水）に当社ホームページに掲載いたします。

当社は、2024年5月20日（月）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。なお、四半期決算説明会はオンライン開催とさせていただきます。その模様及び説明内容（動画）については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の回復傾向など、経済活動の正常化が進みましたが、円安による物価上昇や原材料価格・光熱費の高騰などによる消費者の生活防衛意識の高まりから節約志向が続いており、依然として不透明な状況が続いております。

当社の主力事業が属するインターネット広告市場におきましては、2023年のインターネット広告市場が前年比7.8%増の3兆3,330億円(株式会社電通「2023年日本の広告費」)となり、高い増加率を継続しております。

また、2024年後半に予定されているGoogleのwebブラウザの「Chrome」における3rd Party Cookieの廃止に向けて、2024年1月より一部のユーザーに対して3rd Party Cookieを制限するテストが開始され、Cookieを代替するサービスである「ポストCookieソリューション」への社会の関心は一層高まっております。

ソリューション毎の経営環境につきましては、マーケティング支援においては、イベント出展強化や外部パートナーを活用した営業活動の強化等、販路拡大のための積極投資が功を奏し、前年同四半期と比較してアカウント数が増加しました。一方で、前年度にスポットで大口案件を受注していた影響があり、単価は減少しました。

データマネジメント・データアナリティクスについては、「ポストCookieソリューション」の需要の高まりを受けて、DSPやSSP各社で、弊社の「IM-UID」を利用した配信が増加したため、配信量に応じたインフラ利用料が増加しました。その結果、単価も増加傾向となりました。

成果報酬型ディスプレイ広告運用サービス「Performance DMP」については、機会学習を用いた広告効果の高い案件への注力により、アカウント数、単価ともに増加傾向となっております。

費用面においては、「ポストCookieソリューション」の営業活動への注力のための人的資本への投資や、新たな株式報酬制度を導入したことにより、人件費が増加しました。また、一部業務の外注化や販売促進施策のための費用も増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,573,871千円(前年同期比1.4%増)、営業利益63,979千円(同49.6%減)、経常利益64,873千円(同49.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益43,040千円(同50.5%減)となりました。

なお、当社グループは、DMP事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は2,173,140千円となり、前連結会計年度末に比べ80,049千円の増加となりました。

流動資産は2,101,472千円となり、前連結会計年度末に比べ83,319千円増加しました。これは主に、売掛金が58,252千円増加したことによるものであります。固定資産は71,608千円となり、前連結会計年度末に比べ3,240千円減少しました。これは主に、投資その他の資産が3,031千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は591,824千円となり、前連結会計年度末に比べ29,891千円の増加となりました。

流動負債は485,524千円となり、前連結会計年度末に比べ29,891千円増加しました。これは主に、買掛金が40,615千円増加したことによるものであります。固定負債は106,300千円となり、前連結会計年度末と変動はありません。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,581,315千円となり、前連結会計年度末に比べ50,157千円増加しました。これは主に資本金、資本剰余金がそれぞれ1,715千円増加したこと、また親会社株主に帰属する四半期純利益43,040千円の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は71.5%(前連結会計年度末は72.1%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ21,614千円増加し、1,632,635千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は20,117千円（前年同期は129,646千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益64,873千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は457千円となりました。（前年同期に使用した資金はありません。）これは、有形固定資産の取得による支出457千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は1,955千円（前年同期は2,992千円の収入）となりました。これは、株式の発行による収入1,955千円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、概ね当社の予想範囲内に手推移しており、2024年9月期通期業績予想につきまして、変更はございません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,611,021	1,632,635
売掛金	380,219	438,471
契約資産	1,770	7,486
電子記録債権	495	—
貯蔵品	669	971
その他	23,977	21,907
流動資産合計	2,018,152	2,101,472
固定資産		
有形固定資産	9,245	9,247
無形固定資産	210	—
投資その他の資産	65,393	62,361
固定資産合計	74,848	71,608
繰延資産	89	59
資産合計	2,093,090	2,173,140
負債の部		
流動負債		
買掛金	312,571	353,186
未払法人税等	28,836	26,718
契約負債	1,584	5,333
賞与引当金	25,597	25,098
その他	87,043	75,186
流動負債合計	455,632	485,524
固定負債		
長期借入金	100,000	100,000
資産除去債務	6,300	6,300
固定負債合計	106,300	106,300
負債合計	561,932	591,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	473,824	475,539
資本剰余金	453,824	455,539
利益剰余金	580,642	623,682
自己株式	△212	△212
株主資本合計	1,508,078	1,554,549
新株予約権	3,613	6,791
非支配株主持分	19,466	19,975
純資産合計	1,531,158	1,581,315
負債純資産合計	2,093,090	2,173,140

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	1,552,274	1,573,871
売上原価	1,101,967	1,181,341
売上総利益	450,307	392,529
販売費及び一般管理費		
役員報酬	30,075	31,120
給料及び手当	133,587	141,592
法定福利費	26,958	27,708
地代家賃	17,401	17,401
減価償却費	1,342	1,191
業務委託費	20,654	11,689
賞与引当金繰入額	25,634	25,098
その他	67,725	72,748
販売費及び一般管理費合計	323,378	328,550
営業利益	126,928	63,979
営業外収益		
受取利息	7	8
為替差益	931	—
助成金収入	222	1,280
消耗品売却収入	14	354
その他	20	296
営業外収益合計	1,195	1,939
営業外費用		
支払利息	—	570
為替差損	—	444
創立費償却	29	29
その他	0	0
営業外費用合計	29	1,044
経常利益	128,094	64,873
税金等調整前四半期純利益	128,094	64,873
法人税等	41,108	21,325
四半期純利益	86,985	43,548
非支配株主に帰属する四半期純利益	55	508
親会社株主に帰属する四半期純利益	86,930	43,040

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	86,985	43,548
四半期包括利益	86,985	43,548
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	86,930	43,040
非支配株主に係る四半期包括利益	55	508

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	128,094	64,873
減価償却費	1,342	1,191
株式報酬費用	7,958	8,663
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,468	△498
受取利息	△7	△8
支払利息	—	570
売上債権の増減額 (△は増加)	14,561	△63,473
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,812	△301
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,278	40,615
その他	7,277	△7,594
小計	150,292	44,038
利息の受取額	7	8
利息の支払額	—	△570
法人税等の支払額	△20,653	△23,358
営業活動によるキャッシュ・フロー	129,646	20,117
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△457
投資活動によるキャッシュ・フロー	—	△457
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	2,992	1,955
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,992	1,955
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	132,638	21,614
現金及び現金同等物の期首残高	1,459,785	1,611,021
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,592,423	1,632,635

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

当社グループは、DMP事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

当社グループは、DMP事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。